

令和5年度 木造住宅の耐震リフォーム達人塾【オンライン版】 講習内容

講義名	講義概要
第1講 建築士・設計士の役割と7つの鉄則	地域の住宅耐震化のために建築士・設計士・大工が担うべき役割とその具体的な内容を「7つの鉄則」の形で分かりやすく伝授します。また、設計例、チェックシートの活用についても解説します。
第2講 低コスト耐震補強の手引き解説	安価な耐震改修工法が紹介されている愛知建築地震災害軽減システム研究協議会発行の「木造住宅低コスト 耐震補強の手引き」を徹底解説します。
第3講 ネットワークの重要性と行政の役割	木造住宅の耐震改修に関わる関係者間のネットワーク構築と行政の役割について、耐震改修先進県の取り組みを紹介しながら解説します。
第4講 実例で学ぶコストダウンの隠しワザ	耐震改修工事の実例に基づき、診断精度向上の重要性、耐震改修専用工法施工のノウハウなど、実務で超役立つ情報をわかりやすくご紹介します。
第5講 住宅所有者への説明技術	どんなに工事費が安くても、家主の決断がなければ耐震改修は実現しません。家主が耐震改修を決心するために必要な安全・安心の説明技術について、具体的に解説します。
第6講 精算法、偏心率計算、N値計算の基礎	診断精度を上げるために必要な3点セット(精算法、偏心率計算、N値計算)の概要と考え方について構造力学の基礎からわかりやすく解説します。
第7講 手計算で理解する精算法、N値計算法(入門編)	精算法とN値計算法について、その構造的な意味を分かり易く解説するとともに、基礎的な例題を手計算で解くことによって基本内容を理解します。
第8講 手計算で理解する精算法、N値計算法(応用編) (75分)	精算法とN値計算について、実践的な例題を手計算で解くことによって理解を深めます。また、診断ソフトを使わずに合理的に計算するためのツールも紹介します。
第9講 耐震診断・改修設計ソフトの操作方法と要点 (15分)	耐震診断・改修設計用ソフトウェア「達人診断」(無料体験版)を用いて、住宅データの入力方法、改修設計の基本操作方法等を演習するとともに、診断ソフト活用のノウハウを公開します。
第10講 設計演習課題(1)+達人案解説	平屋の住宅の例題に取り組み、安価な耐震改修設計の基本方針について演習します。
第11講 設計演習課題(2)+達人案解説	2階建ての一般的な既存不適格住宅を対象とした設計演習課題を通して、耐震改修設計の基礎から応用を系統的に習得します。
第12講 設計演習課題(3)+達人案解説	種々の耐震改修専用構法を駆使して、2階建ての店舗共同住宅の高難易度耐震改修例題に挑戦します。より高いスキルを習得するためのチャレンジ演習課題です。
第13講 設計演習課題(4)+達人案解説	構造用合板に留め付ける釘の位置と打ち方が耐力壁の耐震性能に及ぼす影響を理解し、施工品質が住宅の耐震性能に与える影響が少なくないことを学びます。
第14講 施工者として知っておきたい補強設計のポイント	耐震改修設計を施工者の立場から考えることで、施工者として知っておきたい設計の考え方やポイントを、具体例を通して習得します。
第15講 木造住宅の施工品質と耐震性能	構造用合板を留め付ける釘の位置と打ち方が耐力壁の耐震性能に及ぼす影響を理解し、施工品質が住宅の耐震性能に与える影響が少なくないことを学びます。
第16講 低コスト工法の隠しワザを現場で完全実演	安価に耐震改修を実現させるための必須技術である低コスト工法を施工するための様々な隠しワザを豊富な現場写真・映像を通して徹底的に解説します。
第17講 改修設計の疑問すべて解決! 達人テクニクQ&A	耐震改修設計に関する設計士からの疑問に達人たちがズバリ答えます。
第18講 改修現場の疑問すべて解決! 達人テクニクQ&A	耐震改修施工に関する現場からの疑問に達人たちがズバリ答えます。

※お申し込み頂いた全受講者が全講義をご視聴頂けます。

受講モデルコース	講習プログラム
1. ベーシックコース	受講必須：1~4、10 受講推奨：5、11、16、17
2. アドバンストコース	受講必須：1~7、10、11 受講推奨：8、9、12、16~18
3. エキスパートコース	受講必須：1~8、10~12、16~18 受講推奨：9、13~15
4. 施工演習コース	受講必須：4~16、18 受講推奨：1、3、4、10、17
5. 設計演習コース	受講必須：4、6~8、10~12、17 受講推奨：1、2、5、9、13、14、16、18

※達成度評価テストは、「1. ベーシックコース」「2. アドバンストコース」「4. 施工演習コース」で受験可能です。いずれかのコースを受講後に受けてください。